

## 5. 海外の容器包装リサイクル制度に関する調査

### 5.1 調査内容

#### 5.1.1 調査対象

我が国の容器包装リサイクル制度の運営の参考となる国として、以下のとおり、ドイツ、フランス、ベルギーを調査対象とした。

- ドイツ  
我が国の容器包装リサイクル制度設計の際に参考とした国であり、強制デポジット制度の導入、容器包装以外の廃棄物との一括収集の検討などの動きがある。
- フランス  
容器包装リサイクル制度において、分別収集・リサイクルの負担は生産者等にあるが、分別収集を実施しているのは自治体であり、費用負担の仕組みが我が国の参考となる。また、グリーン・ドットのライセンス料にボーナス・ペナルティを導入している。
- ベルギー  
EUにおいて、容器包装リサイクルシステムを効率的に運営している国であり、運営方法が我が国の参考となる。

#### 5.1.2 調査項目

各国の容器包装リサイクル制度について、以下の項目について文献調査及び現地調査によって情報を収集し、整理した。

##### (1) 容器包装リサイクルシステムの内容

- 容器包装リサイクルシステム全体の概要
- 関係主体の役割分担
- 分別収集の仕組み
- 分別収集・リサイクル費用の負担の仕組み（負担主体、費用負担方法、負担比率等）
- リサイクル手法（認められている手法、手法間の優先順位等）

##### (2) リサイクル目標及び実績

- リサイクル目標（設定内容、設定根拠、リサイクル率の算定方法等）
- リサイクル実績（実績、リデュースの考慮等）

##### (3) グリーン・ドット方式の内容

- グリーン・ドットの管理団体
- ライセンス料（料金の設定方法、ボーナス・ペナルティの考え方、徴収方法、権利保護等）

#### (4) 強制デポジット制度の内容

- 強制デポジット制度の概要（導入経緯、仕組み、料金設定等）
- 強制デポジット制度の評価（制度導入による効果）

#### (5) 容器包装リサイクルシステムに関する評価及び今後の動向

容器包装リサイクルシステムに関する評価のほか、各国について、特に、以下の点について、情報を収集した。

<ドイツ>

- 容器包装以外の廃棄物との一括収集・リサイクルについて
- DKR 社の現状
- DS 企業の複数化による影響

<フランス>

- ボトル以外のプラスチックとの一括収集・リサイクルについて
- 自治体の費用開示について

<ベルギー>

- ボトル以外のプラスチックとの一括収集・リサイクルについて
- リサイクル事業者による買取価格について

また、EU における容器包装指令の今後の動向についても、情報を収集した。

### 5.1.3 調査方法

#### (1) 文献調査

以下の機関等の既存報告書、WEB サイト等から情報を収集し、整理した。

- 経済産業省
- 環境省
- 公益財団法人容器包装リサイクル協会
- PRO EUROPE
- ベルギー FOST PLUS
- フランス ECO-EMBALLAGES
- ドイツ DER GRUNE PUNKT – DUALES SYSTEM DEUTSCHLAND GMBH

#### (2) 現地調査

文献調査を踏まえ、訪問機関を選出し、容器包装リサイクルシステムの内容及び最新の動向についての情報を収集するため、現地調査を実施した。

#### 1) 参加者（敬称略）

経済産業省産業技術環境局 リサイクル推進課 松木 晃

株式会社三菱総合研究所 環境・エネルギー研究本部 新井 理恵  
 多田 茂 (ドイツ通訳者)  
 Euro Vision & Associates 村岡 有 / 大中 登紀子 (ベルギー通訳者)  
 KSM NEWS & RESEARCH 齋藤 あや子 (フランス通訳者)

## 2) 期間

現地調査期間は、2013年2月17日～24日(17日、23日、24日は移動日)であった。

## 3) 訪問機関

以下の機関を訪問し、容器包装リサイクルシステムの内容及び最近の動向等について情報を収集した。

国	機関	機関概要	場所
ドイツ	DSD社(Duales System Deutschland GmbH)	ドイツの容器包装リサイクル制度における代表的なデュアルシステム運営企業。	ケルン
	ドイツ連邦環境・自然保護・放射線安全省* (Bundesministerium für Umwelt, Naturschutz und Reaktorsicherheit)	ドイツの容器包装リサイクル制度の政府管轄機関。	ボン
ベルギー	地域間容器包装委員会(IVCIE)	ベルギーの容器包装リサイクル制度の管轄機関。	ブリュッセル
	Fost Plus	ベルギーの家庭系容器包装廃棄物の生産者責任組織。	ブリュッセル
	European Commission	欧州指令の管轄機関。	ブリュッセル
	欧州連合日本政府代表部	欧州連合の日本代表機関。	ブリュッセル
フランス	Eco Emballages	フランスの家庭系容器包装廃棄物の生産者責任組織。	パリ

※以下、本文中では「ドイツ連邦環境省」と記載する。

各国の調査結果は、次章以降のとおりである。

なお、各用語の日本での位置づけと EU 主要国での位置づけを整理すると以下のとおり。  
 次章では、特に断りのない限り以下の用語の整理に基づき表記している。

日本での位置づけ		EU主要国での位置づけ			
広義	狭義	狭義	広義		
再生利用	材料リサイクル	メカニカルリサイクル	マテリアル・リサイクル (同一素材を得るケミカルリサイクルを含む)	リサイクル	リカバリー
	ケミカルリサイクル	フィードストックリサイクル			
	—	有機的リサイクル (コンポスト等)	その他のリサイクル		
熱回収	固形燃料化等	エネルギーリカバリー	エネルギーリカバリー及 びエネルギー回収を伴う 焼却施設での焼却	その他(リサイ クル以外) のリカバ リー	
	自治体における ごみ発電	エネルギー回収を伴う焼却 施設での焼却			

※狭義の部分については、厳密には各国において定義・境界が異なる場合がある。